

「サテライトSEC道後2022」を開催

《四国4県6会場でサイバーセキュリティシンポジウム道後をオンライン配信》

四国総合通信局（局長：西岡 邦彦）は、令和4年6月30日（木）、7月1（金）の2日間、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会、徳島大学、高知工科大学、香川高等専門学校、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校及び情報通信交流館（e – とぴあ・かがわ）とともに、サテライト会場での配信イベントを開催し、学生・教職員、地方公共団体職員など、約150名の参加がありました。

■主な配信プログラム

基調講演：「総務省におけるサイバーセキュリティ政策」

講師：巻口 英司（総務省 サイバーセキュリティ統括官）

講演：「サイバー犯罪の現状と対策」

講師：櫻井 仁（警察庁 サイバー警察局サイバー企画課 課長補佐）

パネルディスカッション：セキュリティエデュケーションの曲がり角

コーディネータ： 国立研究開発法人情報通信研究機構
サイバーセキュリティネクサス 主任研究員

佐藤 公信 氏

パネリスト： 株式会社三菱総合研究所デジタル・イノベーション
本部サイバーセキュリティ戦略グループ 主任研究員

小川 博久 氏

長崎県立大学 情報システム学部
情報セキュリティ学科・教授

島 成佳 氏

株式会社FFRIセキュリティ技術本部
セキュリティサービス部長

中西 克彦 氏

講演：「サイバーセキュリティの結節点を目指して」 9:55～10:35

講師：安田 真悟 氏（国立研究開発法人 情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所サイバーセキュリティ研究室
兼 サイバーセキュリティネクサス 研究マネージャー）

講演：「傭兵CIO/CDOがCISOもやってみた 13:25～14:05 ～DXに向けて動かす立場のセキュリティ～」

講師：小山 徹 氏（エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社
執行役員 IT・デジタル推進室長）
西本 逸郎 氏（（一社）日本スマートフォンセキュリティ協会（JSSEC）理事・事務局長/
（株）ラック代表取締役社長 兼 執行役員社長）

講演：「社会の変化とサイバーセキュリティの再定義 14:35～15:15 ～社会全体で取り組むセキュリティと橋渡し力を育む場作り～」

講師：佳山こうせつ氏（富士通株式会社プリンシパルアーキテクト・
東京電機大学サイバーセキュリティ研究所研究員）

施策説明：総務省及び経済産業省のセキュリティ関連施策等の紹介

■参加者アンケートより

- NOTICEやCYDERなど、国や団体の取組を知ることができた。
- セキュリティ人材の育成に関するイベントを、今後も開催して欲しい。
- サイバーセキュリティの現状が理解できた。

四国総合通信局では、今後も地域の関係団体と協働し、セキュリティに関する意識やレベルの向上につながる取組を実施し、広くICT（情報通信技術）が社会全般に普及する中のサイバーセキュリティの応用と安心・安全な利活用を推進します。

（お問い合わせ先） 情報通信部 電気通信事業課 電話 089-936-5044

■会場の様子

